

## 一度決めたら泥沼にはまる

## 子どもと受験②

子ども2人を私立の中高一貫校に入れました。息子は大学生になり、娘は高校生。2002年にホームペー

ジを開設し、息子の中学受験を振り返りながら体験談を書いたら、編集者の目にとまり、「偏差値30からの中学受験合格記」(学習研究社)という本になりました。

息子が小5の夏、夫の転勤で茨城から神奈川に引っ越しました。茨城では県立高校に進学するのが普通で、中学受験は「幼い子どもを夜中まで勉強させる虐待行為」くらいにしか考えていなかった。でも引っ越したら、同級生の母から、有名塾に通って受験すると聞いたのです。

私は影響を受けやすい。「ゆとり教育」が始まる公立中への不安。そこから希望する高校に行けないかもしれない心配。私立なら、有名大学も手招きして幸せにしてくれる。そう思ったというのが本音です。塾を探して、夏季講習から通わせ



＝横浜市中区、倉田貴志撮影

偏差値30だった息子を私立中に合格させた  
エッセイスト

鳥居 りんこさん (48)

2010 7/8 A  
ました。入ったのが平均偏差値「33」のクラスでした。それからの毎日

は、息子は学校から帰ると、漢字と計算のドリル。私は弁当づくり。午後4時20分に車で塾まで送り、9時前に出迎え。帰宅後は11時まで勉強。土曜も塾、日曜は模試でした。

の額になってしまったのです。

金銭的、精神的、肉体的にもきつかったけれど、息子は逗子開成中(神奈川県逗子市)に入りました。

中学受験するのは、大きく三つのグループに分かれます。一つは親子代々で私立というご家庭。二つ目は、ぶつちぎりで頭がよくて、公立の授業では退屈になりそうなお子様たち。三つ目は、公立に行けばいいのに、うわさが気になり、不安で仕方ない母親とその子どもたち。

私がそうでしたが、三つ目のグループに与えられる道は、つらく険しい。「これだけやったから、点数は上がるはず」と思っても、成績は伸びない。それでも「ここをやめたら、今までの苦労や、払ったお金はどうなる」と考えて、降りられない。ばくちで負けが込んでいる時と同じで、泥沼にはまるのです。

合格した後は大変です。私立は中高6年間で500万〜600万円は

かかる。志望大学に入れる保証もありません。いじめもあるし、留年や退学、引きこもりもあります。

ゲームオタクの息子は1浪後、コンピュータ系の大学へ。結局、人は好きな道しか歩めない。受験は私にとってコストパフォーマンスだけみれば悪かったかもしれません。

今も、自分の体験や見聞きしたことを元に「母の人生に、子どもの受験あり!」というブログを書いています。受験に悩む母親たちから質問やコメントがたくさん来ます。

それを読んで感じるのですが、今は私たちの時より経済状況はよくない。中学受験を突破し、仮に志望大学に入れても、就職先が保証されているわけではない。そういう現実を知ったうえで、中学受験をするかどうか考えてほしい。一度決めたら、簡単には抜けられないのですから。もし、もう中学受験にかじをきってしまったのなら、もがきながら、怒鳴りながら、泣きながら、子どもの背中を押していきましょう。いつか自分に「お疲れ」って言える時が来ます。(聞き手・鈴木曉彦)